

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年6月27日 (2013.6.27)

【公開番号】特開2012-247947(P2012-247947A)

【公開日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-053

【出願番号】特願2011-118446(P2011-118446)

【国際特許分類】

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

B 6 5 H 31/26 (2006.01)

【 F I 】

G 0 7 D 9/00 4 0 5 B

G 0 7 D 9/00 4 0 3 G

G 0 7 D 9/00 4 0 3 E

B 6 5 H 31/26

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月14日 (2013.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

【図 1】本発明の実施例 1 に係る紙幣入出金装置を備えた A T M (automated teller machine) (本体装置) の構成を模式的に示す断面図である。

【図 2】実施例 1 に係る紙幣入出金装置の拡大図である。

【図 3】(a), (b), (c) は実施例 1 に係る紙幣入出金装置の整列レバーとステージプレートとの関係を示す図である。

【図 4】(a), (b) は実施例 1 に係る紙幣入出金装置のフィードローラ、セパレータ、搬送ローラ、部分羽根車の位置関係を示す図である。

【図 5】実施例 1 に係る紙幣入出金装置の各部の動作を制御する制御部と制御部によって制御される処理タスクのブロック図である。

【図 6】(a), (b) は実施例 1 に係る紙幣入出金装置の入金処理時における各部の動作状態を示す図 (その 1) である。

【図 7】実施例 1 に係る紙幣入出金装置の入金処理時における各部の動作状態を示す図 (その 2) である。

【図 8】(a), (b) は実施例 1 に係る紙幣入出金装置の出金処理時における各部の基本動作を示す図である。

【図 9】(a), (b), (c) は実施例 1 に係る紙幣入出金装置の出金処理時における整列レバーの機能について説明する図である。

【図 10】実施例 1 に係る紙幣入出金装置の出金時において例えばユーロ紙幣などのように額面に応じて紙幣幅サイズの異なる紙幣を一時集積部に集積させる場合の整列レバーの回動を制御する処理のフローチャートである。

【図 11】(a), (b) は図 10 の処理における整列レバーの回動動作を示す図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 5 】

制御部 4 0 は、紙幣が一枚集積される毎に、収納部 4 からの出金依頼枚数に対応する紙幣の繰り出しが完了したか否かを判別する（ステップ S 7）。そして、まだ完了していない場合は（S 7の判別 No）、ステップ S 2 に戻って、出金処理のシーケンスを繰り返す。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 1 】

この後も、制御部 4 0 は、紙幣が一枚集積される毎に、ステップ S 7で収納部 4 からの出金依頼枚数に対応する紙幣の繰り出しが完了したか否かを判別し、完了していない場合は、ステップ S 2 に戻って、出金処理のシーケンスを繰り返す。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 3 】

そして、ステップ S 7の判別で、収納部 4 からの出金依頼枚数に対応する紙幣の繰り出しが完了していれば、出金処理を終了する（ステップ S 1 0）。出金処理を終了すると、フィードローラ 2 6、搬送ローラ 2 8、セパレータ 2 7、部分羽根車 2 9 等の回転系は回転を停止する。